

## 平成 29 年 2 月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時 平成 29 年 2 月 20 日(月) 午後 1 時 30 分

場 所 市庁本館 3 階 議会第 1 委員会室

教育委員職氏名	教育委員長	武 輪 節 子
	教育委員長職務代行者	築 瀬 眞知雄
	教育委員	油 川 育 子
	教育委員	大 庭 文 武
	教育長	伊 藤 博 章

事務局員職氏名	教育部長	佐 藤 浩 志
	教育部次長兼教育総務課長	野 田 祐 子
	図書館長	藤 田 俊 雄
	学校教育課長	小笠原 徹
	教育指導課	木 村 一 夫
	社会教育課長	田 中 勉
	是川縄文館副館長	清 川 定 吉
	総合教育センター所長	原 寿
	博物館館長	古 里 淳
	教育総務課参事	玉 井 由 朗
	学校教育課参事	茨 島 隆
	西地区給食センター所長	川 口 晃 司

## 開 会

(武輪委員長)

定刻となりましたので、平成29年2月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、油川委員さんを指定します。

それでは教育長から、主な会議・行事等について、説明をお願いします。

## 主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(武輪委員長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

(武輪委員長)

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第5号「八戸市南郷スクールバス運営規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明をお願いします。

## 議案第5号 八戸市南郷スクールバス運営規則の一部を改正する規則の制定について

(小笠原 学校教育課長 資料に基づき説明)

(武輪委員長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

(武輪委員長)

それでは、議案第5号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

次に、報告事項に参ります。初めに「西白山台小学校の開校に係る今後のスケジュールについて」事務局からの説明おねがいします。

## 【西白山台小学校の開校に係る今後のスケジュールについて】

(野田 次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(武輪委員長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。

(油川委員)

今回のご報告に直接関わることはないかと思えますけれども、今回、校庭の部分が粘性土のものであ

ったということで、土の質に問題があるということでした。今後、植樹や植栽活動を行う際には土壌の改良ということもあるかと思しますので、予算も大目に計上したほうがいいのかと思いました。以上です。

(野田 次長兼教育総務課長)

校庭の部分に少し粘土質な状況があるということなのですからけれども、植栽をする部分で既に植栽が終わっている部分もございます。今回延長する部分は本当に校庭側の部分だけということでした。本当に粘土質で完全にだめということではなく、粘土質なところと、冬の間には工事をすることで凍結と凍結した部分が溶けるということでぬかるんでしまうということがあって、工事上なかなか難しいことがあるということです。品質のよい校庭として仕上げるために、冬場の工事を少し延長するところが主なところでございますので、ご理解いただきたいと思っております。

(油川委員)

はい、わかりました。そういうことであれば安心しました。ありがとうございます。

(武輪委員長)

次に「八戸市学校給食における食物アレルギー対応管理マニュアルの策定について」事務局からの説明おねがいします。

### 【八戸市学校給食における食物アレルギー対応管理マニュアルの策定について】

(小笠原 学校教育課長 資料に基づき説明)

(武輪委員長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。

(大庭委員)

私もマニュアル案の段階で拝見させていただきました。大変詳しく、詳細にわたるマニュアルだと感じました。ただ1点、指摘させていただいたのは、食物アレルギーにこれまで関わっている方は理解できると思いますが、あまり馴染みがない者として拝見した場合に、除去対象の品目あるいはそれに関わる個人、保護者から申請する場合の品目で5品目、7品目が少し混乱するのではないかと思われるところがありましてご指摘させていただきました。参考にしていただければと思っていました。

(武輪委員長)

ほかにごいませんか。

(油川委員)

私も少し質問をさせていただきます。以前にマニュアルを拝見しました。とてもよく、詳細なことまで書かれてありまして、マニュアルを作成するにあたり大変なご苦労があっただろうと思ひ、大変お疲れ様でした。5品目除去という中に「小麦」は入っていないということによろしいのでしょうか。

(小笠原 学校教育課長)

スタートの段階で「小麦」は入っておりません。これまでの学校給食で、その5品目の内の「そば」、「落花生」、「蟹」についてはこれまでも使用せずに調理をしてきています。今回新たに「たまご」と「乳」を加えて対応していくということです。

(油川委員)

わかりました。あともう1点なのですが、構成員の中に医師とあるのですけれども、学校医の位置付けというものはいかがでしょうか。医師というものは主治医ということでしょうか。

(小笠原 学校教育課長)

学校医ということではなくて主治医です。

学校での対応を希望する子ども、ご家庭については医師から学校生活管理指導票を提出していただくということが必須になっております。

(油川委員)

学校で出来上ったリストを含めて、学校医の方に確認いただくということは特にないのですか。

(小笠原 学校教育課長)

予定していません。

(油川委員)

わかりました。食物アレルギーに関する研究というものは、非常に速い速度で進んでいると思いますので、定期的な研修計画ということもお考えだとは思いますが、大切になってくるのかと思いました。冒頭にもお話ししましたが、大変なご苦労があったことと思います。これからも大変なことだと思いますけれども、どうぞよろしく願いいたします。以上です。

(武輪委員長)

次に「西地区給食センター供給開始に係るスケジュールについて」事務局からの説明をお願いします。

#### **【西地区給食センター供給開始に係るスケジュールについて】**

(小笠原 学校教育課長 資料に基づき説明)

(武輪委員長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

それでは次に、「平成28年度学校教育実践功労表彰について」事務局からの説明をお願いします。

## 【平成28年度学校教育実践功労表彰について】

(原 総合教育センター所長 資料に基づき説明)

(武輪委員長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。

今回表彰された中の柏崎小学校愛好会の取組みですが、先日市長との総合教育会議の中でも部活動についての話し合いで紹介されました。部活動の取組みに関して困っている学校もあると思いますので、今回の取組みを良い例として他の学校にも紹介することとしていただきたいと思います。是非、地域密着型教育の話し合いの中でも結構ですし、多くの方に周知していただくようお願いしたいと思っております。

それでは次に、「中核市移行に伴う教職員研修について」事務局からの説明をお願いします。

## 【中核市移行に伴う教職員研修について】

(原 総合教育センター所長 資料に基づき説明)

(武輪委員長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。

(築瀬委員)

中核市移行に伴い教職員研修業務が県から市に移行し、市教委が大きな役割を担うこととなります。研修内容や運営方法のことで、初めての事案もたくさんあり、教職員研修だけではなく、研修に伴う事務手続きも様々な難題があることと思います。そして、県教委との連絡調整ということも大事になってくると思います。

何点か質問があります。1点目ですが、資料の1つ目のQ&Aに八戸市の教職員研修の「テーマ」や「ねらい」とあります。この「ねらい」の⑤で「参加型・体験型研修」、「課題解決的な研修」の研修形態を工夫すると強調されています。例えば、具体的に計画していることがあったら教えてください。

(原 総合教育センター所長)

ご質問いただきました「参加型・体験型研修」また、「課題解決的な研修」ということにつきましては、次期学習指導要領でも主体的な学び、いわゆるアクティブラーニング等と今までも言われていたものが授業の中で実践されていくときに、教職員が方法や形態を熟知して、自分たちも経験しているということが重要であると考えて、形態等について工夫していきたいと考えています。具体的に申しますと、授業の進め方等について1つテーマを持って、それをグループで付箋等を使って、たくさんの意見を出し、意見をまとめて、行動に移していく、この3つの大きな段階を経た研修ということは今考えているところであります。先日、指導主事の研修会を開き参加型の研修ということと一緒に勉強したところでございます。

4月から各講座が始まりますが、特に初任者研修と10年経験者研修につきましては、先ほど説明をした形で進めていきたいということで、準備を進めているところでございます。以上であります。

(築瀬委員)

ありがとうございました。これまでも総合教育センターにおいては、八戸市が伝統的に「参加型・体験型」で行っている理科の観察実験講座や、地質巡検など伝統的に開拓をしてきていると、私は評価しています。今の課題で言えば情報モラルや、ICTの機器活用、AEDの実技研修、ALTを使った英会話教室など、総合教育センターを中心とした参加型、体験型、課題解決的な研修形態というものは評価される場所だと思いますので、是非これからも頭だけで学ぶ研修だけではなくて、実際に子どもたちに生きて働く研修というものは非常に大事だと思いますので頑張ってくださいと思っています。

2点目ですが、いま原所長からも触れられました資料の2つ目のQ&Aで法定研修の内、初任者研修と10年経験者研修について記載しています。その中で初任者研修は非常に重要な研修であると思うのです。この初任者研修については、これまでの「ふるさと研修」以外に今後、市教委が主催するという観点に立ったときに、今まで行われていた県の研修ほどの程度、八戸市が主催していくのか少しお聞かせいただきたいと思っています。

(原 総合教育センター所長)

先ほど築瀬委員からお話いただいたように、八戸市がこれまで進めてきた体験型の講座というものを生かしながら、新しい研修の体形を構築しているところで、先輩たちが築き上げてきたものを大事にしていきたいと思っています。

ご質問がありました初任者研修等につきましては、校外へ出での研修が25日間予定されております。その内の宿泊研修ですが、種差少年自然の家や上北の研修施設で行ったものについては、県と一緒に委託して行うということで進めております。採用者が市だけで行うよりは、その他の職員も含めて交流をしながら、いろいろな体験をしていくということで進めております。その他の研修については基本的に当市で開催していくこととなります。または、当市の指導主事や外部の講師も活用しながら進めていくということになっています。築瀬委員からありました「ふるさと研修」について、今年度は是川縄文館で行いました。博物館や是川縄文館、西地区給食センター等、当市の各施設でも研修していきたいと考えています。当市の施設を活用することが、中核市になって身近な研修ということにつながるかと考えているところであります。

10年経験者研修ですが、特に専門性の高い、音楽や技術家庭科等、教科のレベルの高いものについては、県教委へ委託する方向で固まってきていると考えています。以上であります。

(築瀬委員)

ありがとうございました。丁寧なご説明ありがとうございました。子どもたちには地域に誇りと愛着をもつということを進めています。まずは教職員が八戸に誇りを持てなければ、子どもたちにその誇りを教えたり、導いたりすることはできないと思います。大変積極的に進めていただければありがたいと思っています。

宿泊研修について、資料の最後から2つ目のところに「養護教諭」、「学校栄養職員」、「学校事務職員」は専門性が高いことや、学校における少数職種であること、また、他管教職員との情報交換が重要であるとの理由から、県教委に委託すると書いています。私は、初任者についても同じように他管との交流が重

要であると思うのです。初任者のなかには、周りの職員に悩みを言えない場合もあるので、同じ管内の学校との交流だけではなく、県全体の仲間として、初任者同士がお互いの様々な悩みを共有することが非常に大事だと思います。初任者研修も県教委と連携しながら、一体的に進めるということが必要だと思っていたので、今聞いて安心しました。

これから始まる研修制度は、市教委にとっても負担がかかってくるということがあると思うので、総合教育センター、教育指導課を中心とした事務局の皆さんには過重負担にならないように教育長からも目を行き届かせていただければと思っています。以上です。

(武輪委員長)

経験者が語るという点では、大変貴重なご意見をいただきました。どうぞ生かしていただければと思います。

ほかにございますか。

(大庭委員)

今の築瀬委員の内容と重なるのですがけれども、私も資料の法定研修の初任者研修と10年経験者研修のところが気になっていました。今のお話だと初任者研修も宿泊など、県教委と連携しながら行っていくということで、特に初任者研修については教員としてのスタートですので、県教委の施策などを理解する場でもあると思うので、連携をうまくとりながら進めていただければいいと思っていました。

10年経験者研修について、先ほどのお話だと専門性の高いものは県に委託しながら連携していくということですので、いいと思って聞いていました。

関連してですが、教科等の研究委員及び教員の国内外への派遣の研究発表会に今年から市内の10年経験者の先生方も入ったということです。発表会では10年経験者の先生方の発表と研修に対する質問が出ました。中核市へ移行して、市での1つの取り組みとして、市の独自性を活用していただければいいと思ってあの場に参加させていただいておりました。様々な形でこれから試行錯誤していくかと思いますが、連携をとる部分と市の独自性というところをうまくかみ合あわせていただければいいと思います。

(原 総合教育センター所長)

県との連携ということにつきましては、今年度担当の出貝主任指導主事と佐藤主任指導主事が、青森市に20回程度足を運ばせていただきました。その中で研修の進め方、内容についていろいろとご指南いただいて、4月から生かしていき、資料もたくさん県教委からいただきましたので、それを活用してまいりたいと思っています。

先日は教科等研究委員の発表会で、教育委員の皆様に参加していただきました。初任者が終わって2年目の方、それから10年経験者の方ということで講座に位置付けたところ、大変活発に意見が出て、深みのある研修会でした。今までこの発表会の講座に課題がありましたが、中核市移行後、当市で行えるということから、有意義なものとなったのかと考えています。中核市になって教育研修を当市で行うという利点を生かしながら、また県とも連携しながら、特に次期学習指導要領の改訂が間近になっておりますので、

そういうところを情報共有していきたいと思います。ありがとうございます。

(武輪委員長)

ありがとうございます。

そのほか事務局から報告事項はございますでしょうか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方からなにかございますか。

[なし]

最後に私から一言申します。通常年であっても、これから3月、4月は新年度に向けて大変忙しい時期になると思います。今年は更に29年度に向けて、今日の報告事項にもありますように、5つの報告事項の中の4つは新たな大きな事業でございます。新年度に向けて新たな事業、それも大きな事業が始まるわけでございます。どうぞ新しい業務が増える分忙しくなって、時間に追われて普段やらないようなこともやってみたりなどいろいろあるかと思っております。また健康面においても、忙しくなりますので、皆様どうぞ十分気を付けて、新年度に向けてお願いしたいと思っております。

## 閉 会

(武輪委員長)

それではこれもちまして平成29年2月の教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後2時31分閉会)